

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5057604号
(P5057604)

(45) 発行日 平成24年10月24日(2012.10.24)

(24) 登録日 平成24年8月10日(2012.8.10)

(51) Int.Cl.		F I			
G09G	5/14	(2006.01)	G09G	5/14	Z
G06F	3/02	(2006.01)	G06F	3/02	310K
H04M	1/247	(2006.01)	H04M	1/247	

請求項の数 16 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2000-39808 (P2000-39808)	(73) 特許権者	598094506
(22) 出願日	平成12年2月14日 (2000.2.14)		ソニー インターナショナル (ヨーロッ
(65) 公開番号	特開2000-231371 (P2000-231371A)		パ) ゲゼルシャフト ミット ベシュレ
(43) 公開日	平成12年8月22日 (2000.8.22)		ンクテル ハフツング
審査請求日	平成19年1月30日 (2007.1.30)		ドイツ連邦共和国 10785 ベルリン
審査番号	不服2011-16588 (P2011-16588/J1)		ケンパーブラッツ 1
審査請求日	平成23年8月2日 (2011.8.2)	(74) 代理人	100095957
(31) 優先権主張番号	99102617.0		弁理士 亀谷 美明
(32) 優先日	平成11年2月11日 (1999.2.11)		
(33) 優先権主張国	欧州特許庁 (EP)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 無線通信端末装置及びアイコンの表示方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

メニューアイテム及び他の情報に対応するアイコンを表示する表示手段と、
上記アイコンをスクロールし、選択可能な複数のアイコンを同時にハイライトするスクロール手段と、

上記ハイライトされた複数のアイコンのいずれか1つに対するユーザ入力に応じて、当該1つのアイコンに対応するメニューアイテムを選択する入力手段と、

を備え、

上記表示手段には、メニューの利用可能な全てのアイコンの少なくとも幾つかが同時に表示され、

上記スクロール手段が、上記アイコンを少なくとも2つの方向にスクロールして、上記選択可能な複数のアイコンをハイライトして表示するとともに、他のアイコンよりも拡大して表示することにより、上記複数のアイコンは、上記スクロール手段の操作に応じて、上記少なくとも2つの方向のうちの1方向における連続した順番に拡大して表示され、

上記入力手段は、ハイライトされる各アイコンに対して1つの入力キーを有し、いずれかの上記入力キーへの操作を当該入力キーに対応するアイコンに対する上記ユーザ入力として扱う、

ことを特徴とする、無線通信端末装置。

【請求項 2】

上記アイコンは、環状に配されて表示されることを特徴とする請求項1記載の無線通信

端末装置。

【請求項 3】

上記スクロール手段の操作により、上記表示されたアイコンは、順にその位置を変え、上記選択されるアイコンの拡大表示は、常に上記表示手段の同じ位置に行われることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の無線通信端末装置。

【請求項 4】

上記拡大表示されたアイコンは、上記表示手段の表示領域の中央に位置することを特徴とする請求項 3 記載の無線通信端末装置。

【請求項 5】

上記実際に選択されたアイコンの前の及び次のアイコンは、上記他のアイコンよりも大きく表示されるとともに、上記実際に選択されたアイコンよりは小さく表示されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項記載の無線通信端末装置。

10

【請求項 6】

上記スクロール手段は、回転されるジョグダイヤルであり、上記アイコンをスクロールすることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項記載の無線通信端末装置。

【請求項 7】

上記選択されたアイコンの次に続くアイコンの拡大表示の方向は、上記ジョグダイヤルの回転方向に一致していることを特徴とする請求項 6 記載の無線通信端末装置。

【請求項 8】

上記表示手段の選択されたアイコンのメニューアイテムの文字表示は、上記選択されたアイコンの近くに行われることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項記載の無線通信端末装置。

20

【請求項 9】

表示手段、入力手段、及びスクロール手段を備える無線通信端末装置において上記表示手段にアイコンを表示するためのアイコンの表示方法であって、

メニューアイテム及び他の情報に対応するアイコンを上記表示手段に表示するステップと、

選択可能な複数のアイコンを同時にハイライトするステップと、

を有し、

ハイライトされる上記複数のアイコンのいずれか 1 つに対する上記入力手段を介したユーザ入力に応じて、当該 1 つのアイコンに対応するメニューアイテムは選択可能であり、

30

メニューの利用可能な全てのアイコンのうち少なくとも幾つかのアイコンが、上記表示手段に同時に表示され、

上記アイコンは、上記スクロール手段の操作によって少なくとも 2 つの方向にスクロールされ、上記選択可能な複数のアイコンがハイライトされるとともに、他のアイコンよりも拡大して表示されることにより、上記複数のアイコンは、上記スクロール手段の操作に応じて、上記少なくとも 2 つの方向のうち 1 方向における連続した順番に拡大して表示され、

上記入力手段は、ハイライトされる各アイコンに対して 1 つの入力キーを有し、いずれかの上記入力キーへの操作を当該入力キーに対応するアイコンに対する上記ユーザ入力として扱う、

40

ことを特徴とする、アイコンの表示方法。

【請求項 10】

上記アイコンは、環状に配されて表示されることを特徴とする請求項 9 記載のアイコンの表示方法。

【請求項 11】

上記スクロール手段の操作により、上記表示されたアイコンは、順にその位置を変え、上記選択されるアイコンの拡大表示は、常に上記表示手段の同じ位置に行われることを特徴とする請求項 9 又は 10 記載のアイコンの表示方法。

【請求項 12】

50

上記拡大表示されたアイコンは、上記表示手段の表示領域の中央に位置することを特徴とする請求項 1 記載のアイコンの表示方法。

【請求項 1 3】

上記実際に選択されたアイコンの前の及び次のアイコンは、上記他のアイコンよりも大きく表示されるとともに、上記実際に選択されたアイコンよりは小さく表示されることを特徴とする請求項 9 乃至 1 2 のいずれか 1 項記載のアイコンの表示方法。

【請求項 1 4】

上記スクロール手段は、回転されるジョグダイヤルであり、上記アイコンをスクロールすることを特徴とする請求項 9 乃至 1 3 のいずれか 1 項記載のアイコンの表示方法。

【請求項 1 5】

上記選択されたアイコンの次に続くアイコンの拡大表示の方向は、上記ジョグダイヤルの回転方向に一致していることを特徴とする請求項 1 4 記載のアイコンの表示方法。

【請求項 1 6】

上記選択されたアイコンのメニューアイテムの文字表示は、上記選択されたアイコンの近くに行われることを特徴とする請求項 9 乃至 1 5 のいずれか 1 項記載のアイコンの表示方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、無線通信端末装置、及び無線通信端末装置の表示部にアイコンを表示するアイコンの表示方法に関する。特に、本発明は、メニューアイテム及び他の情報に対応するアイコンを表示する表示部を備える無線通信端末装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

無線通信端末装置 (terminal for wireless telecommunication) としては、例えば無線通信システム (telecommunication system) における基地局 (base station) 又は移動局 (mobile station) がある。移動局としては、例えば携帯電話機 (portable telephone) や、情報を送受信する携帯電子機器 (portable electronic device) がある。

【0003】

これらの携帯電話機及び携帯電子機器は、表示部を備え、表示部にはメニューアイテム (menu items) や他の情報に対応したアイコン (icons) が表示される。アイコンは、シンボル (symbols) 又は画像 (pictures) であり、選択可能なメニューアイテムを可視化するために用いられる。例えばメニューに 3 個のサブメニュー (submenus) 又は 3 個の副機能 (subfunctions) がある場合、これらのサブメニュー又は副機能は、3 個の異なるアイコンで可視化される。通常、アイコンはメニューアイテムを表す語 (term) 又は語句 (expression) の文字表示を置換したものであり、どのような言語を用いるユーザにも、それらは理解可能である。

【0004】

現在市場には、アイコンを表示する表示部を有する多種多様な携帯電話機が出回っている。例えば、アルカテル社 (Alcatel) の携帯電話機「ワンタッチポケット (One Touch Pocket、商標)」は、メニューアイテムに対応するアイコンを表示する表示手段と、アイコンをスクロールするスクロール手段と、アイコンを入力して、対応するメニューアイテムを選択する複数の入力手段を備える。スクロール手段は、2 つの方向を示す矢印キーからなり、アイコンをスクロールすることができる。表示手段である表示部には、3 個のアイコンが水平線上に並べて表示される。上方向又は下方向のスクロールを行うと、表示部には 3 個のアイコンにそれぞれ続く新たな 3 つのアイコンが表示される。表示部の下には、入力手段である 3 個のエンターキーが設けられており、各エンターキーは、表示されている 3 つのアイコンに割り当てられている。すなわち、表示されたアイコンのうちの 1 個のメニューアイテムは、そのアイコンに割り当てられたエンターキーを押すことによって、選択されて入力される。

10

20

30

40

50

【0005】

ソニー株式会社（SONY）の携帯電話機「Z1 Plus（商標）」は、メニューアイテム及び他の情報に対応するアイコンを表示する表示手段と、アイコンをスクロールし、選択されたアイコンをハイライト（highlight）するスクロール手段と、ハイライトされたアイコンを入力し、対応するメニューアイテムを選択する入力手段を備え、メニューの利用可能な全てのアイコンのうちの少なくとも幾つかを同時に、表示手段である表示部に表示し、スクロール手段は、アイコンを2つの方向にスクロールし、選択されたアイコンをハイライトする。スクロール手段は、回転キー、すなわちジョグダイヤル（商標）からなり、右回り又は左回りに回転することができ、表示されたアイコンをスクロールし、それらのアイコンのうちから1個を選択する。各メニューにおいて、同時に3個のアイコンが、表示部の水平線上に隣接して表示される。表示された3個のアイコンから選択された1つのアイコンは、そのアイコンの反転表示、すなわちネガ表示によってハイライトされる。ハイライトされたアイコンのメニューアイテムは、入力手段であるエンターキーを押すことによって入力される。したがって、エンターキーは1つしか設けられていない。回転キーを回すことによって、表示されている3個のアイコンは、順次ハイライトされる。表示部の左端又は右端のアイコンがハイライトされているときに、表示されていない次のアイコンに対応する方向に回転キーが回されると、次の連続した3個のアイコンが表示部に表示される。すなわち、アイコンは、ブロック毎（blockwise）に表示部に表示される。メニューのアイコンを連続してスクロールすることによって、表示部には、3個のアイコンからなるグループが次々に表示されるとともに、表示された3個のアイコンが、順次ハイライト、すなわち選択される。新たなグループの3個のアイコンが表示されるときにハイライトされるアイコンは、前のグループのハイライトされたアイコンの反対側に位置するものである。

10

20

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

上述したアルカテル社の「ワンタッチポケット」にはエンターキーが3つ必要であったのに対し、ソニー株式会社の「Z1 Plus」では、必要とされるエンターキーは、唯の1つであるという利点があるが、特に、スクロール手段として回転キー（ジョグダイヤル）を用いるときは、どちらの方向にアイコンがハイライトされていくか、また、どちらの方向にアイコンのグループが切り換わっていくかが明確でない。特に、携帯機器の表示部は、通常小さいので、メニューの利用可能な全てのアイコンを同時に表示部に表示することはできない。したがって、ユーザには、メニューの表示されていない残りのアイコンは何か、それらをどのようにして表示するのが明らかではない。また、反転表示されたアイコンは、時にはユーザにとって、選択できるかが不明確であり、ユーザを当惑させる又は混乱させる画像である。

30

【0007】

本発明は、上述した実情に鑑みてなされたものであり、本発明の目的は、表示部に、メニューのアイコンを数多く同時に表示することができ、また、選択されるアイコンを明確且つ明白にハイライトすることができる無線通信端末装置、及びアイコンの表示方法を提供することである。

40

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明に係る無線通信端末装置は、メニューアイテム及び他の情報に対応するアイコンを表示する表示手段と、アイコンをスクロールし、選択されるアイコンをハイライトするスクロール手段と、ハイライトされたアイコンを入力して、そのメニューアイテムを選択する入力手段を備える。表示手段には、メニューの利用可能な全てのアイコンの少なくとも幾つかが同時に表示され、スクロール手段が、アイコンを少なくとも2つの方向にスクロールして、選択されるアイコンをハイライトして表示するとともに、他のアイコンよりも拡大して表示することにより、アイコンは、スクロール手段の操作に応じて、少なくとも2つの方向のうちの1方向における連続した順番に拡大して表示される。

50

【0009】

本発明に係るアイコンの表示方法は、メニューアイテム及び他の情報に対応するアイコンを表示手段に表示するステップと、選択されるアイコンを、対応するメニューアイテムが選択されて入力されるようにハイライトするステップを有する。メニューの利用可能な全てのアイコンのうちの少なくとも幾つかのアイコンが、表示手段に同時に表示され、アイコンは、スクロール手段の操作によって少なくとも2つの方向にスクロールされ、選択されたアイコンがハイライトされるとともに、他のアイコンよりも拡大して表示されることにより、アイコンは、スクロール手段の操作に応じて、少なくとも2つの方向のうちの1方向における連続した順番に拡大して表示される。

【0010】

このように、本発明では、選択されたアイコンは、拡大して表示される。すなわち、他の表示されたアイコンは、選択されたアイコンよりも小さく表示されるので、従来の装置よりも、数多くのアイコンを、表示手段に同時に表示することができる。また、選択されたアイコンは、より詳細に表示されるので、ユーザは、その選択されたメニューアイテムに関する明確且つ明白な情報を得ることができる。選択されないアイコンは小さく表示されるので、殆どの場合、メニューの利用可能な全てのアイコンを表示手段に表示することができ、ユーザは常に、選択可能なアイコンの全てを同時に見ることができる。アイコンを、スクロール手段の操作に応じて、少なくとも2方向のうちの1方向に連続して順番に拡大して表示することにより、スクロール手段の操作方向、及び選択されるアイコンの連続した拡大表示の順番が、明白且つ明確に保証される。

【0011】

また、本発明では、アイコンを環状に表示する。アイコンを環状に配することによって、次に選択されて拡大表示されるアイコンのスクロール手段の操作方向を、はっきりさせることができる。これは特に、スクロール手段が回転キー（ジョグダイヤル）の場合に言えることである。また、別の方法として、アイコンを行列（matrix）に配列して、行毎にスクロールするようにしてもよい。

【0012】

さらに、スクロール手段を操作することによって、表示されたアイコンは連続的にその位置を変え、選択されるアイコンの拡大表示は、常に表示手段の同じ位置に配される。すなわち、スクロール手段を操作することによって、表示されたアイコンは、所定の位置を通過して移動し、この所定の位置ではアイコンは常に拡大されて表示される。したがって、ユーザは、表示手段を見回して拡大されたアイコンを見つける必要はなく、拡大された、すなわち選択されたアイコンを表示手段の常に同じ位置で見つけることができる。拡大されて表示されたアイコンは、アイコンが表示される表示手段の表示領域の中央に位置する。表示手段の中央の領域は、ユーザが常に最初に見る位置であるので、ユーザは、選択されたアイコンをより早く見つけることができる。別の方法として、アイコンの表示位置を変えずに、スクロール手段の操作によって、アイコンを順次拡大して表示するようにしてもよい。

【0013】

実際に選択されたアイコンの前の及び次のアイコンは、他のアイコンよりも拡大されて表示されるとともに、実際に選択されたアイコンよりは小さく表示される。すなわち、拡大されたアイコンの隣に位置する2個のアイコンは、拡大されたアイコンと他のアイコンの中間のサイズを有する。これによって、ユーザは、選択できる次のアイコンに関するより詳細で明確な情報を得ることができる。特に、アイコンが環状に配されているときは、拡大されたアイコンが表示手段の下部に表示され、小さいサイズのアイコンが表示手段の上部に表示され、中間サイズのアイコンが表示手段の左側及び右側に表示され、三次元的な効果が得られる。すなわち、表示手段の上部の小さいサイズのアイコンは、遠く離れて見え、表示手段下部の拡大されたアイコンは、最も近くに見え、表示手段の左側及び右側の中間サイズのアイコンは、いくぶん離れて見える。特に、表示手段が、高解像度の図形表示器であるときは、アイコンの滑らかな及び視覚的に興味を引く回転動作を実現すること

10

20

30

40

50

ができる。

【 0 0 1 4 】

スクロール手段は、回転されるジョグダイヤルであり、アイコンをスクロールすることができる。ジョグダイヤルは、容易に操作することができる回転キーであり、その操作方向を、表示手段上のアイコンの移動方向が明白且つ明確になるように割り当てることができる。アイコンが環状に配されているときは、ジョグダイヤルが右回りに回転すると、アイコンは右回りに動き、ジョグダイヤルが左回りに回転すると、アイコンは左回りに動くので、ユーザは、選択したいアイコンに対してどちらの方向にジョグダイヤルを回転させればよいかを明確に分かる。

【 0 0 1 5 】

表示手段の選択されたアイコンのメニューアイテムの文字表示は、選択されたアイコンの近くに表示される。これにより、ユーザは、付加的な情報が提供され、アイコンの意味をあまりよく理解できないときでも、選択されたメニューアイテムを簡単に理解することができる。

【 0 0 1 6 】

本発明は、特に、携帯電話機のような表示手段の小さい小型の端末装置に適している。

【 0 0 1 7 】

ところで、同時に 1 個以上のアイコンが選択されてハイライトされるようにしてもよい。この場合、ハイライトされる各アイコンに対して、1 つのエンターキーをそれぞれ備えるようにする。例えば、3 個のアイコンが同時にハイライトされるようにする場合、3 個の各々のアイコンに対してエンターキーを備え、ユーザは、それらのうちの 1 個を押すことによつて、所望のメニューアイテムを入力することができる。

【 0 0 1 8 】

【 発明の実施の形態 】

以下、本発明に係る無線通信端末装置及びアイコンの表示方法について、図面を参照しながら詳細に説明する。

【 0 0 1 9 】

図 1 は、無線通信システムにおける本発明を適用した携帯電話機の平面図である。この図 1 に示すように、携帯電話機 10 は、表示部 11 を備え、表示部 11 には、メニューアイテム (menu items)、及びテキスト情報 (text information) のような他の情報に対応するアイコンが表示される。また、携帯電話機 10 は、その筐体の前面上部にラウドスピーカ 12 を、前面下部にマイクロフォン 13 を備える。また、携帯電話機 10 は、メニューアイテム又は機能を入力するための入力手段としてエンターキー 14 を備える。また、携帯電話機 10 は、通常の番号キー 15、ポンドキー (#) 16、電源入 / 切キー 17 を備える。さらに、携帯電話機 10 は、ジョグダイヤル 18 を、筐体の側面上部に備える。ジョグダイヤル 18 は、回転キーであり、その一部は本体の外側に露出している。ユーザは、この露出部分を、指で右回りに (上へ) 又は左回りに (下へ) 回転させ、表示部 11 に表示されているメニューアイテム又は機能をスクロールすることができる。

【 0 0 2 0 】

メニューアイテム又は機能は、表示部 11 にテキスト表示として又はアイコンとして表示される。テキスト表示は、例えば、文字 (characters) で書かれた語 (term) 又は語句 (expression) であり、メニューアイテム又は機能の意味 (the meaning of the respective function or menu item) を説明するものである。アイコンは、シンボル (symbol) の図形表示 (graphical display) であり、シンボルは、機器のメニューアイテム又は他の機能を表している。

【 0 0 2 1 】

携帯電話機 10 の表示部 11 は、図形表示器 (graphical display) であり、通常のテキスト又は文字表示器よりも解像度が高く、アイコンの滑らかな回転動作を、視覚的に面白く表示することができる。

【 0 0 2 2 】

携帯電話機 10 の表示部 11 は、例えば図 1 に示すように、5 つのアイコンを表示する 5 つの異なる位置 # A、# B、# C、# D、# E を有する。表示される各アイコンは、メニューのメニューアイテムに対応している。各アイコンは、対応するメニューアイテムの意味を可視化したものであるため、アイコンを、携帯電話機 10 の選択されたユーザ言語にかかわらず使用することができる。

【 0023 】

位置 # A のアイコンは、他の位置に表示されたアイコンよりも拡大されて表示される。すなわち、位置 # A のアイコンは選択及びハイライト (highlight) されており、エンターキー 14 を押すことによって、そのアイコンに対応したメニューアイテムが入力される。表示された 5 個の全てのアイコンは、表示部 11 上に環状 (circular arrangement) に配され、表示部 11 の中央下部の位置 # A に、拡大されたアイコンが位置されるようにすることによって、三次元的な効果が得られる。位置 # C、# D に位置する 2 個のアイコンは、最も小さく表示される。位置 # C、# D は、表示部 11 の最上部に位置する。位置 # B、# E のアイコンは、位置 # C、# D の最小サイズのアイコンと、位置 # A の拡大サイズのアイコンとの間の中間のサイズを有する。位置 # B、# E は、表示部 11 の略中央の水平線上に、それぞれ右側と左側の位置である。位置 # A のアイコンは、最大の大きさに表示されているので、前方にあるように見え、これによって、位置 # C、# D のアイコンは、表示部 11 において後方にあるように見える。

【 0024 】

図 2 は、表示部 11 を拡大した図である。図 2 の表示部 11 のアイコンは、図 1 のアイコンと同様に配されている。位置 # A のアイコンはメニューアイテム「制御 (control)」に対応し、位置 # B のアイコンはメニューアイテム「再発信リスト (redial list)」に対応し、位置 # C のアイコンはメニューアイテム「メッセージ (messaging)」に対応し、位置 # D のアイコンはメニューアイテム「転送 (divert)」に対応し、位置 # E のアイコンはメニューアイテム「お好み (preference)」に対応する。アイコン「制御」が位置 # A に拡大されて表示されているので、メニューアイテム「制御」は、選択されており、携帯電話機 10 のエンターキー 14 を押すことによって入力される。

【 0025 】

図 3 は、図 2 に示された 5 個のアイコンの第 2 の配置例である。図 3 の表示部 11 では、メニューアイテム「お好み」に対応するアイコンが位置 # A に拡大して表示されている。したがって、携帯電話機 10 のエンターキー 14 を押すことによって、メニューアイテム「お好み」を入力することができる。図 2 の表示部 11 と図 3 の表示部 11 を比較すると、アイコンは同様の連続した順番で環状に配されているが、アイコンの各位置が 1 つずつずれている。図 2 に示されたアイコンの配置から開始して、アイコンの輪 (circle of icon) は、右回りに位置を 1 つ回転して、図 3 に示す配置になる。図 1 に示された携帯電話機 10 のジョグダイヤル 18 を下へ、すなわち左回りに回すと、アイコンの位置を 1 つずつ左回りに変えることができる。したがって、表示部 11 に環状に配されたアイコンは、ジョグダイヤル 18 の回転方向と同じ方向に動くことになる。ユーザが図 3 に示されたアイコンの配置から開始し、位置 # A に、アイコン「制御」を拡大表示して配し、対応するメニューアイテムを入力するときは、ユーザは、図 1 に示された携帯電話機 10 のジョグダイヤル 18 を右回りに回し、アイコンが同様に右回りに位置を 1 つずつ変えるようにする。

【 0026 】

ユーザが、図 3 に示されたアイコンの配置から開始し、ジョグダイヤル 18 を 1 つ左回りに回すと、アイコンは左回りに位置を 1 つずつ変えて、図 4 に示された配置になる。この配置では、メニューアイテム「転送」のアイコンが、位置 # A に拡大して表示され、エンターキー 14 を押すことによって入力される。ユーザは、図 4 の配置から図 2 の配置へ変えたいときは、ジョグダイヤル 18 を 2 つ上へ、すなわち右回りに回して、アイコンの位置を右回りに 2 つずつ変える。

【 0027 】

メニューアイテム「転送」のアイコンは、図2、図3及び図4のそれぞれの表示部11で3通りの異なるサイズで表示されている。アイコン「転送」は、図2では表示部11の位置#Dに、図3では位置#Eに、図4では位置#Aに表示されている。アイコン「転送」は、位置#Dでは最小サイズで、位置#Eでは中間サイズで、そして位置#Aでは拡大されたサイズ、すなわち最大サイズで表示される。図2、図3及び図4を比較すると、位置#E、#Bでは、位置#C、#Dでよりもアイコンは詳細に示され、さらに、位置#Aのアイコンは、位置#B、#Eのアイコンよりも詳細に表示される。したがって、位置#Aの選択されたアイコンは、他のアイコンよりも読み易い。また、位置#B、#Eの前の又は先のアイコンは、位置#C、#Dのアイコンよりも既に大きく表示されているので、ユーザは、次に選択されるアイコンのより詳細な情報が分かる。

10

【0028】

図5、図6及び図7はそれぞれ、図2、図3及び図4に示された表示部11に対する他の具体例であり、位置#Aの拡大表示されたアイコンに対する文字情報が、位置#Fに付加されている。表示部11において、各メニューアイテムの文字情報が位置#Aに表示されたアイコンに直接割り当てられていることを確実にするために、位置#Fは、位置#Aの下に位置する。図5の表示部11では、位置#Fに「制御」という文字が表示され、これは位置#Aに表示されたアイコンのメニューアイテムと対応している。図6の表示部11では、位置#Fに「お好み」という文字が表示され、これは位置#Aに表示されたアイコンのメニューアイテムと対応している。図7の表示部11では、位置#Aに表示されたアイコンのメニューアイテムに対応する「転送」という文字が位置#Fに表示されている。

20

【0029】

なお、本発明は、上述した具体例に限定されるものではなく、例えばアイコンを行列(matrix)に配列して、行毎にスクロールするようにしてもよい。また、例えば、アイコンの表示位置を変えずに、スクロール手段の操作によって、アイコンを順次拡大して表示するようにしてもよい。

【0030】

また、例えば、同時に1個以上のアイコンが選択されてハイライトされるようにしてもよい。この場合、ハイライトされる各アイコンに対して、1つのエンターキーをそれぞれ備えるようにする。例えば、3個のアイコンが同時にハイライトされるようにする場合、3個の各々のアイコンに対してエンターキーを備え、ユーザは、それらのうちの1個を押すことによって、所望のメニューアイテムを入力することができる。

30

【0031】**【発明の効果】**

本発明に係る無線通信端末装置は、メニューアイテム及び他の情報に対応するアイコンを表示する表示手段と、アイコンをスクロールし、選択されるアイコンをハイライトするスクロール手段と、ハイライトされたアイコンを入力して、そのメニューアイテムを選択する入力手段を備える。表示手段には、メニューの利用可能な全てのアイコンのうち少なくとも幾つかが同時に表示され、スクロール手段が、アイコンを少なくとも2つの方向にスクロールして、選択されるアイコンをハイライトして表示する。スクロール手段を操作することによって、表示されたアイコンは、順次連続して位置を変え、選択されるアイコンが常に表示手段の同じ位置に拡大して表示される。ユーザは、常に最初に表示手段の中央を見ることが多いので、表示手段を見回して、ハイライトされたアイコンを見つける必要がなく、簡単に所望のアイコンを見つけることができる。

40

【図面の簡単な説明】

【図1】無線通信システムにおける本発明を適用した携帯電話機の平面図である。

【図2】携帯電話機の表示部を拡大したものであり、アイコンの第1の配置例を示す図である。

【図3】携帯電話機の表示部を拡大したものであり、アイコンの第2の配置例を示す図である。

【図4】携帯電話機の表示部を拡大したものであり、アイコンの第3の配置例を示す図で

50

ある。

【図5】図2に示された表示部に対する文字表示を有する他の具体例を示す図である。

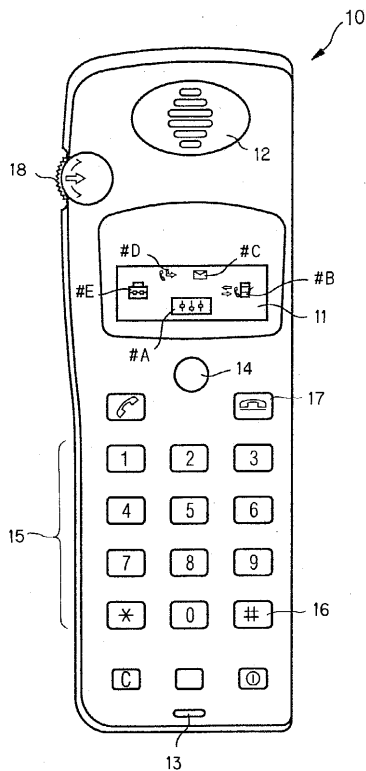
【図6】図3に示された表示部に対する文字表示を有する他の具体例を示す図である。

【図7】図4に示された表示部に対する文字表示を有する他の具体例を示す図である。

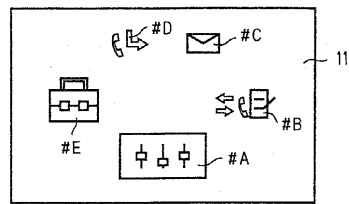
【符号の説明】

- 10 携帯電話機、 11 表示部、 12 ラウドスピーカ、 13 マイクロフォン、 14
- エンターキー、 15 番号キー、 18 ジョグダイヤル

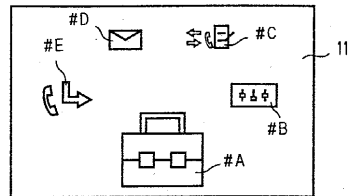
【図1】



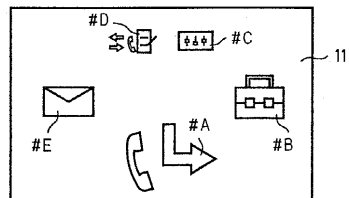
【図2】



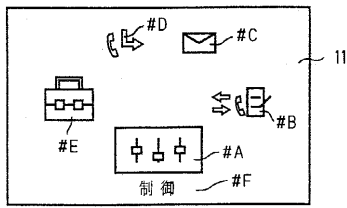
【図3】



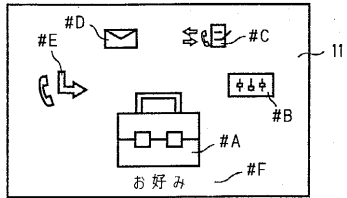
【図4】



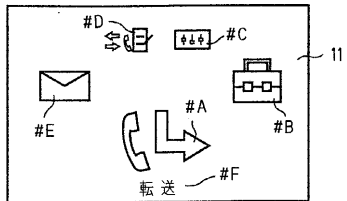
【図5】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

- (72)発明者 カリ カルケイネン
ドイツ連邦共和国 デー - 8 5 6 0 9 アッシュハイム マックス プランク シュトラーセ
8 ソニーインターナショナル(ヨーロッパ) ゲゼルシャフト ミット ベシュレンクテル ハフ
ツング パーソナル アンド モーバイル コミュニケーション ヨーロッパ内
- (72)発明者 アミン トラビ
ドイツ連邦共和国 デー - 8 5 6 0 9 アッシュハイム マックス プランク シュトラーセ
8 ソニーインターナショナル(ヨーロッパ) ゲゼルシャフト ミット ベシュレンクテル ハフ
ツング パーソナル アンド モーバイル コミュニケーション ヨーロッパ内
- (72)発明者 フィリップ ファン
ドイツ連邦共和国 デー - 8 5 6 0 9 アッシュハイム マックス プランク シュトラーセ
8 ソニーインターナショナル(ヨーロッパ) ゲゼルシャフト ミット ベシュレンクテル ハフ
ツング パーソナル アンド モーバイル コミュニケーション ヨーロッパ内

合議体

審判長 清水 稔
審判官 甲斐 哲雄
審判官 山田 正文

- (56)参考文献 特開平 8 - 1 4 9 3 8 4 (J P , A)
特開平 1 0 - 2 3 2 7 5 7 (J P , A)
特開平 6 - 3 0 1 0 1 (J P , A)
特開平 1 0 - 3 1 5 4 1 (J P , A)

- (58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)
G06F 3/048
G06F 3/14